

JSAF 外洋東海第 93 回理事会・第 49 回代議員会・第 41 回総会(通常)  
第 21 回 JSAF 外洋東海友の会総会議事録

1.開催日時 令和元年 5 月 29 日 (水) 午後 6 時 45 分～8 時 00 分

2.開催場所 愛知県スポーツ会館 第 1 会議室

3.出席者

<理 事> (本人出席)

坂谷定生、大島茂樹、岩瀬喜貞、五藤 敏、奥田義明

(委任状出席)

川合紀行、林 泰成、渡邊大志、吉村政治、中村 孝、安井 理、水谷節生  
龍野信人

定足数 11 出席数 13 (成立)

<代議員> (本人出席)

岩瀬喜貞、永井守久、森岡稔夫、水越英次

(委任状出席)

岡吉 樹、安井 理、龍野信人

定足数 5 出席者 7 (成立)

<会 員> (本人出席) 10 (委任状出席) 381 定足数 191 出席者数 391 (成立)

<監 事> 富川則之

(敬称略)

4.議 事

定刻になったので坂谷会長議長となり、理事会、代議員会、通常総会、友の会総会の開会を宣す。  
議事録署名人に、大島茂樹氏、岩瀬喜貞氏を指名した後、議事に入った。

・理事会・代議員会・総会(友の会含む)に係る第 1 号議案について

まず、現状の会員数、登録定数について説明。2018 年度末の会員数は 391 名、登録艇数は 134 艇で、このうち 2019 年度に入り年会費、艇登録料を収めた者は、本年の 5 月 25 日現在で、会員が 314 名、艇登録は 123 艇となっており、現時点において未納のため、非会員、未登録艇が多数存在するとのことであった。

次に平成 30 年度の事業実績、収支決算書の説明があった。

レースは予定 8 レースの内、3 レースが中止となる前例のない年であったが、実施したレースは沖縄一東海ヨットレースをはじめ、全てのレースに関して事故もなく終了できたことは良かった。ただ、今年のことではあるが、エリカカップが中止になったことは残念であった。

各委員会活動については例年同様の活動実績について報告があった。

収支決算書については 3 月報告時点からの変動を主に添付のとおり説明があり、2,209,294 円の繰り越し(実質 791,870 円:パールレースに関する繰越金が湘南との共有のため)決算となった旨報告があった。

この件について、昨日の監査状況を富川監事から報告してもらったのち、出席理事に対し代議員会への上程の可否を諮ったところ、全員賛成したので、会長は第 1 号議案の事業報告、収支決算に

係る議案を代議員会に諮った。出席代議員全員異議なくこれを了承した。これによって平成 30 年度事業実績報告、収支決算報告の件は案どおり可決された。

友の会決算についても同時進行で、年度末積立残高 26,267,566 円の報告をし、これについては総会審査となるので、出席者全員に対し会長から可否を諮ったところ、全員異議なく了承したので、JSAF 外洋東海友の会決算についても可決された。

・理事会 2 号議案 JSAF 関係報告

会長から外洋ヨット界の現況について以下のとおり報告があった。

1. 小笠原レース 2019 が 5 月に開催され特に大きな事故もなく盛会のうちに終了した。トラッキング情報へのアクセスは格段に増え約 50,000 件を数えた。外洋レースへの関心の高まりか。
2. 第 60 回パールレースに関し、オリンピック関連事業や世界選手権が相模湾で開催されることから、2019 年及び 2020 年については江の島が使えず、2 年間に限ってフィニッシュを伊東港とした。また、コースも島周りではなく以前のようにダイレクトコースに変更して実施する。
3. オフショアレースがオリンピック 2024 パリ大会から正式種目となった。フォーマットは 500 マイル程度の男女 WH で、使用艇は 30ft クラスの艇ということだ。このことに伴い 2020 年から世界選手権が毎年開催されることになっている。今後外洋グループとしてはこれらに向かって進んでいくことになる。
4. もう一つ外洋にとって大きな動きがあった。ユニバーシヤード大会だ。この大会にはこれまで競技種目の中にヨット競技は無かったが、今回初めて外洋艇が新種目として加えられた。今回のナポリ大会には、蒲郡で行われた大学マッチレースで優勝した東大チームが挑むことになり、既に関西でトレーニングをしている状況です。

以上審議、報告全て終了したので、午後 8 時 10 分会長閉会を宣す。

議事録署名人 大島 茂樹

岩瀬 喜貞